

# 平成 30 年度 第 2 回 意見交換会

実施日	平成 30 年 11 月 18 日 (日)
時間	15 : 30 ~ 18 : 35
場所	サンレイクかすや 多目的ホール
参加者数	55 名 ( I 部 ・ II 部 ・ III 部の合計 )
出席議員	16 名全員
サポート要員	2 名 ( 議会事務局職員 )
意見交換会 III 部 テーマ名  ( ) 内の人数 は、議員を除 いた参加人数	A. 市制に向けた環境整備に関して ( 8 名 ) B. 市制に向けた環境整備に関して ( 10 名 ) C. 落橋した駕与丁公園の水鳥橋に関して ( 3 名 ) D. プラスチックごみの環境問題に関して ( 3 名 ) E. 高齢者支援サービスに関して ( 4 名 ) F. 子育て支援サービスに関して ( 7 名 )
<b>内容</b>	
<p>テーマを 5 つ設けました。</p> <p>市制に関するテーマに関しては、今後、当町として近い将来の大きな課題であり、2 つの班を設け意見交換に挑みました。</p> <p>テーマ毎に議員を 2 名配置し ( 司会進行役と書記役 )、参加町民には、ご自身の興味のあるテーマの席に移動していただきました。</p> <p>意見交換会の参加数は、35 名です。</p> <p>テーマ毎に参加者の考えをポストイットや模造紙に書いてもらいました。</p>	
<b>報告</b>	
参加者から上がった主な意見を取りまとめました。 下記のとおり、ご報告いたします。	

テーマ内容【A】		市制に向けた環境整備に関して		
【B】				
所管の委員会		<b>① 総務常任委員会</b> <b>② 建設常任委員会</b>		
NO.	区分	町民からの質問・意見	粕屋町の 現状の施策の確認 【31年5月31日 現在】	最終報告 【31年5月31日 現在】
1	①	市制移行にあたっては都市計画を描いてほしい	町の将来のまちづくりの考え方の基本となる『都市計画マスタープラン』の見直しを考えています	現在「2020年新たな都市計画マスタープラン」の中間見直しが行われており、議会として、今後の町の動向に注視していきます。
2		町民税などの税率が上がりますか	市制に移行しても税率の変更はありません	議会として、今後市政に向け、税の変化や動向を注視していきます。
3		市制のメリット・デメリットを明確にしてほしい	<p>メリットの例は、福祉事務所の設置により、迅速できめ細かな行政サービスの提供が可能となり、また、イメージの向上が期待できること。</p> <p>デメリットの例は、支出が増え、住居表示の変更等で煩雑な手続きが考えられること</p>	町側が町民の皆様きめ細かい説明など、町民皆様の不安解消に努めるよう求めていくとともに、議会としてもメリットデメリットを伝えられるよう調査していきます。
4		現状、市制となれる条件は満たされていますか	<p>地方自治法第8条第1項や福岡県条例に定められた姿勢の要件を満たす必要があります。</p> <p>現在の所、国勢調査による人口5万人以上という要件以外は概ね満たしています</p>	国勢調査による人口5万人以上となるには2025年度の国勢調査と予想されます。

5		職員増による住民サービスが良くなりますか	市制になれば、自治体が行う住民サービスの種類や量は、増加します。 住民サービスの増加と共に職員の確保は必然です	議会としても近年市政に移行した自治体の調査研究を行うとともに、市政移行に関わらず、町民の皆様が満足いただける住民サービスとなるように業務と職員の確保に注視していきます。
6		合併により議員削減の効果はありますか	自治体を取り巻く諸条件を勘案しながら適正な議員数を決めていく必要があります	議会としても私たち自身のことですので、厳格に適正数を見極められるよう調査研究を重ねていきます。
7		合併より単独がいい	市制移行の方法として、合併で行くのか、単独で行くのか、今の所、結論は出ていません	議会としては町民の皆様の声に耳を傾け、今後の粕屋町・町民の皆様にとって良い方向に進めるよう調査研究していきます。
8		人口が5万人を超えても町のままでいいのですか	国勢調査で5万人を超えても、必ず市制に移行しなければならないわけではありません	議会としても町のままが良いのか市の方が良いのか調査研究していきます。
9		地方交付税が増えるのか試算が必要です	市制に移行すれば、例えば、生活保護の取り扱い事業が発生し、地方交付税の算定に加えられます	町側も現時点での試算は難しいとことですので、議会としても今後の町の動向に注視していきます。
10		単独市制だと費用が増える	単独の場合と合併の場合とで、事業ごとの費用分析が必要になります	議会としても今後の町の動向に注視していきます。
11		福岡市東区が分区する時に合併したほうがいいのではないかと	合併は相手自治体との交渉が前提となります	議会としても今後の町の動向に注視していきます。
12	②	JR 原町駅に快速電車が停車するようにしてほしい	JR では快速の停車要件として、博多～黒崎間で最も効率的な路線体系を検討されています。 粕屋町は交通事業者に対し、要望を取りまとめている「福岡県地域交通体系整備促進協議会」へ原町駅への快速の停車を要望しています	粕屋町は交通事業者に対し、要望を取りまとめている「福岡県地域交通体系整備促進協議会」へ原町駅への快速の停車を要望しており、引き続き、乗降客数等の推移を見守り、準急行等の可能性も視野に、情報収集し町へ要望していきます

テーマ内容【C】		落橋した駕与丁公園の水鳥橋に関して	
所管の委員会		建設常任委員会	
NO.	町民からの質問・意見	粕屋町の 現状の施策の確認 【31年5月31日 現在】	最終報告 【31年5月31日 現在】
1	専門性のある職員の育成や配置を考えてほしい	<p>本年度の技術職の採用はありません。</p> <p>次年度、2回実施予定の採用計画で検討します</p>	<p>町のホームページ等で公表されていますが、令和元年度の採用試験では、一般行政職の中に、土木職・建築職の採用枠をつくり、また。年齢の緩和を行い、即戦力となるような人材確保が考えられています。</p> <p>今後、町内在住の退職された建設技術者等を人材バンク等の形で確保し、指導・助言、また、検査等を行って頂くような人材の採用を町に求めていきます</p>
2	橋を横断できる基準（人間以外）を示してほしい	現在、管理車両として軽トラックは通行可能です	<p>公園内の駕与丁大橋は、群衆荷重（350kg/m<sup>2</sup>）で設計されています。</p> <p>今後は、経年劣化も考慮し、管理車両の通行の可否、及び、自転車などの通行ルール作りを策定するよう要望していきます</p>

テーマ内容【D】		プラスチックごみの環境問題に関して	
所管の委員会		建設常任委員会	
NO.	町民からの質問・意見	粕屋町の 現状の施策の確認 【31年5月31日 現在】	最終報告 【31年5月31日 現在】
1	リサイクルによって得られる効果を町民に発信してほしい	毎年、ごみの減量や3R活動（リデュース・リユース・リサイクル）への協力を町の広報誌で発信しています	今後、リサイクルの効果について、町民に分かりやすい内容で情報発信していくよう町に要望します
2	分別を現在の4種類から増やし、プラスチックごみの再資源化に努めてほしい	現在、プラスチックは、可燃ごみとして収集され、クリーンパーク（粕屋町含む篠栗町・須恵町の3町で運営）において、破碎され固形燃料（RDF）として再資源化されています	数年後、処理施設の建て替えが必要となる際は、プラスチックの再資源化の新たな手法について、3町で研究・協議していきます
3	エコバック普及に効果が出るように町としてもバックアップしてほしい	毎年、福岡都市圏協議会の事業で、エコバックを制作し、町内のスーパーで配布し、啓発を行っています。 エコバックは、役場内の道路環境整備課でも配布しています。 また、町の広報誌でエコバックの利用促進について啓発を行っています	今後、ごみ減量を目的とした啓発活動の予算の拡充を町に要望していきます
4	海に放出される前の段階で河川のプラごみの回収をしてほしい	町の広報誌で、ごみの不法投棄を防止するための啓発を行っていますが、河川敷や用水路には不法投棄されたごみが散見されます。 町内では、地域の環境美化活動（年2回）により地域の用水路などのゴミの回収を実施しています	町内で年2回実施している地域環境美化活動が盛んになるよう、町の支援のあり方について調査・提案を行います

テーマ内容【E】		高齢者支援サービスに関して		
所管の委員会		<b>① 厚生常任委員会</b> <b>② 総務常任委員会</b>		
NO.	区分	町民からの質問・意見	粕屋町の 現状の施策の確認 【31年5月31日 現在】	最終報告 【31年5月31日 現在】
1	①	<p>独居老人への支援に比べて、高齢者夫婦二世帯への支援が手薄のような気がする。</p> <p>どのようなサービスが提供されているのか、それを受けるにはどのような方法があるのか、町より発信してほしい</p>	<p>65歳以上の高齢者の単身世帯は約2000、高齢者夫婦のみの世帯は約1500、あります。</p> <p>高齢者夫婦のみの世帯へのサービスはありません。</p> <p>毎年4月に通知する、いきいき年間カレンダー、や今年5月に広報に掲載した高齢者住宅サービスは、単身・夫婦共に利用可能です</p>	<p>当委員会は、所管課に対し、高齢者夫婦世帯にとって、サービス内容が伝わりやすい情報提供をするよう求めています。</p> <p>また、その時々にあったサービスが提供できるように、随時、サービスの見直しを図るよう求めています</p>
2		<p>高齢者在宅支援サービスの検証をしてほしい（実態調査、また、効果面を含む費用対効果の検証）</p>	<p>以下の通り、事業を実施しています。</p> <p>しかし、検証は実施していません</p> <p>① 生活支援サポーターサービス 53人</p> <p>② 在宅介護ねぎらい手当 84人</p> <p>③ 配色サービス 13,497人</p> <p>④ 緊急通報装置貸付 8人</p> <p>④ 紙おむつ等給付 366人</p> <p>⑤ 認知症高齢者等探してメール 13人</p>	<p>当委員会は、所管課に対し、利用者の声を聞くとともに効果を検証するように求めています。</p> <p>また、サービスを受けている本人のご家族の声を参考にしながら、サービス内容の充実に努めています</p>

3		<p>認知症初期の方やその家族への対応マニュアルを作成してほしい</p>	<p>地域包括支援センターでは、認知症やその家族に対し、認知症初期集中支援チームを設置しています。</p> <p>対象者の状況により、包括チーム員、又は、支援チーム員のいずれかが相談をお受けします。</p> <p>現在、認知症初期集中支援チーム活動マニュアルを作成中です（今年度6月に作成予定）</p>	<p>当委員会は、所管課と、ご家族の不安解消のために、どのような支援ができるのか、協議していきます</p>
4		<p>認知症に対する学習の場を町が提供してほしい</p>	<p>平成31年2月に2回(対象者：高校3年生、一般)、認知症サポーター研修を実施しました。</p> <p>内訳</p> <p>2月7日には、魁誠高校3年生252名4と同教職員14名の合計266名に実施。</p> <p>2月21日には、住民14名に実施。</p> <p>平成31年度の認知症サポーター養成講座は、町内の事業所で実施予定です</p>	<p>当委員会は、所管課と、研修内容の確認や町民への情報発信のやり方を含め、協議していきます</p>
5	②	<p>認知症の学習を小中学校のカリキュラムに取り入れてほしい</p>	<p>小中学校の道徳の授業の中で、高齢者のことや命の大切さについて学習しています。</p> <p>また、総合的な学習として、高齢者施設を訪問している学校もあります。</p> <p>これらの授業の中で、児童・生徒の発達段階に応じて高齢者との関わり方や感謝の気持ちを持つこと、また、認知症のことについても学習しています</p>	<p>高齢化社会が進みゆく現状の中、子どもたちに様々な教育が行われています。学校側試行錯誤しながら、ご尽力いただいていると考えています。議会としても、より良い教育の場が提供できるよう取組んでいきます。</p>

テーマ内容【F】		子育て支援サービスに関して		
所管の委員会		<b>① 厚生常任委員会</b> <b>② 総務常任委員会</b>		
NO.	区分	町民からの質問・意見	粕屋町の 現状の施策の確認 【31年5月31日 現在】	最終報告 【31年5月31日 現在】
1	<b>①</b>	24 公民館で親子サロンを開設してほしい (親子サロンを開設するためのマニュアルを作してほしい)	親子サロンは現在 8 か所で実施しています。 実施していない公民館での開設は、ボランティア不足が原因です。 ボランティア確保が出来次第、行政区と協議をする所存です	当委員会は、全親子サロンに出向いて実態調査をしました。 調査内容は、当委員会で調査結果報告書としてまとめます。 また、この報告書をもとに、執行部に対し、協議をしていきます
2		ファミリーサポート事業を検証してほしい (任せて会員とお任せ会員のこの事業で抱えている問題点の改善)	この事業の管理・運営は、こども館に配置している、ファミリーサポートアドバイザーに相談をお願いします	当委員会は、所管課に対し、実施に現場の声がどうなっているのか、実態調査を依頼していきます
3		各公園のトイレは、幼児・児童が使用できる洋式対応を考えてほしい	トイレを設置している公園は、19 あります。 内訳は、和式便器 56 基、洋式便器 17 基、です。 阿恵大池公園など新しく整備した公園は、多目的トイレを完備し、洋式便器を設置しています。 今後は、公園の改修等の計画がある場合に、トイレの洋式化についても検討します	地域住民より個別に当委員会に対し要望があれば、所管課と協議をしていきます
4		大型商業施設と町で子育てサロンの業務提携をしてほしい	場所の確保の問題、及び、町民以外の来場を考えると、業務提携は困難です	今後の検討課題です



5		世代間交流の場を作ってほしい	保育所・幼稚園、及び、かすやこども館では、世代間交流を実施しています	当委員会は、現在実施している施設以外で、公民館等での取り組みが可能かどうか、所管課と協議していきます
6		民間保育やベビーシッター利用へのクーポン配布をしてほしい	私立の認可保育園で一時保育を一定時間以上ご利用になる場合は、町から補助を出しています	今後の検討課題です
7		放課後デイサービスに関する、障がい児・者世帯への情報発信に取り組んでほしい	<p>現在、外部に発信している情報（資料等）の見直しを行います。</p> <p>町のホームページや役場窓口等を通じて、必要な方へ分かりやすい情報発信を考えていきます</p>	当委員会は、所管課に対し、施設利用者やそのご家族が情報入手に改善点がないか、随時、声を拾い上げるように求めています
8		古賀市や太宰府市まで障がい児が通学するのは大変であるため、近隣に特別支援学校や通級学級等の療育施設の充実に努めてほしい	<p>福岡県は、県立特別支援学校の整備計画を策定しました。</p> <p>設置場所は、糸島市・宗像市・福岡市早良区です。</p> <p>通級学級は、以前、町健康センター内に設置していましたが、平成25年度からは、各小学校に設置しました。</p> <p>現在は、各中学校にも設置しています</p> <p>参考までに、町内の特別支援学校への在籍する児童・生徒数は、下記の通り</p> <p>平成23年度 ➡ 22人</p> <p>平成24年度 ➡ 26人</p> <p>平成25年度 ➡ 30人</p> <p>平成26年度 ➡ 33人</p> <p>平成27年度 ➡ 36人</p> <p>平成28年度 ➡ 39人</p> <p>平成29年度 ➡ 45人</p> <p>平成30年度 ➡ 37人</p>	<p>通級を擁する児童・生徒は年々増加傾向にあり、小中学校の教室不測の解消が喫緊の課題です。</p> <p>当委員会は、所管課に対し、粕屋町を含め近郊への特別支援学校の誘致を求めています</p>

9	通級学級の指導員の不足を改善してほしい	<p>通級を擁する児童・生徒は年々増加傾向にあります。町は、平成31年度、福岡県へ通級指導教室加配要望を行い、1人配置数を増やしています。また、県費教員の配置がない場合は、町費で予算の範囲内で人員の配置を考えています</p> <p>参考までに、平成31年4月1日現在、教員の配置数は、下記の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 大川小学校 県費 3人 / 町費 0人</li> <li>◆ 仲原小学校 県費 2人 / 町費 0人</li> <li>◆ 粕屋中央小学校 県費 3人 / 町費 0人</li> <li>◆ 粕屋西小学校 県費 2人 / 町費 1人</li> <li>◆ 粕屋中学校 県費 0人 / 町費 1人</li> <li>◆ 粕屋東中学校 県費 1人 / 町費 0人</li> </ul>	所管課に対し、必要であれば、加配の要求をさせていただきます
10	療育が必要な子供の将来の設計やビジョンを町が示してほしい	<p>第5次粕屋町総合計画を基本に、第5期粕屋町障がい者計画・第5期粕屋町障がい福祉計画・第1期粕屋町障がい児福祉計画、並びに粕屋町子ども・子育て支援事業計画を推進していきます。</p> <p>子どものライフステージに沿って、地域の保健・医療・障がい福祉・保育・教育・就労支援など、関係機関が連携を図り、切れ目のない一貫した支援体制を構築し、子どもの最善の利益と健やかな育成を支援していきます</p>	現状の町の施策を見守っていきます

11	②	<p>学童保育の児童数の受け入れの拡大、及び、障がい児の受け入れの有無を明確にしてほしい</p>	<p>現状は、待機児童が発生しております。</p> <p>平成 31 年度は、粕屋西小学校の学童の施設整備を予定しています。</p> <p>小学校に通う障がい児に関しては、学童で受け入れられています</p>	<p>議会としても喫緊の課題だと捉え、調査研究していきます。</p> <p>また、障がい児の受入れ有無に関しても町側の動向を注視していきます。</p>
12		<p>学童保育を利用している児童が豊かな心を育てる資質を養成するために指導員の研修の場を設けてほしい</p>	<p>指導員は、毎年、内外の研修を受講し、児童の持つ特性や保育方法を学んでいます。</p> <p>また、町のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが学童を巡回し、指導員に指導方法を教えています</p>	<p>研修を受講したり、町のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携を行っているようですが、議会として、今後も児童の健全な育成に努めるよう教育部局に要望していきます。</p>